

一般質問



瀬戸 三代 議員
(市民クラブ)



■「コミュニティ・スクール」と「子ども食堂」を通じた地域力の醸成について

子どもを真ん中に

人がつながる地域づくり！

質

現在、七尾市ではコミュニティ・スクール制度の導入が進み、子ども食堂も増えている。これらの取組は、地域の人間関係をより強固にし、地域力の醸成につながるものと考ええる。

子どもを中心に、保護者、教職員、地域の大人がつながり、共に子どもの成長を支えながら地域コミュニティを強めることは、防災・減災や防犯にもつながるものである。そして、互いに助け合い、支え合う地域社会の形成に寄与するものと考ええる。

コミュニティ・スクールの推進と子ども食堂の充実は、今後ますます重要な政策であると確信している。そこで、市としての基本的な考え方と、地域力醸成に向けた取組について伺う。

答

今年度、市内3小学校にコミュニティ・スクールを導入しており、実践事例や成果、課題を検証しながら知見を蓄積することで、令和10年度までに市内全小・中学校への円滑な導入を目指している。

また、今年度もコミュニティ・スクールマイスターのプッシュ型派遣を活用し、専門的な助言や伴走支援を受けることで、各学校や地域の実情に応じたコミュニティ・スクールの構築に努めていく。

本市では、既に活動している子ども食堂への運営支援に加え、新たに活動を始めたい団体や地域からの相談に対し、活用可能な補助制度等の情報提供や既存の子ども食堂とのネットワークづくりなどの支援を行っている。

今後とも地域の実情や主体的な取組を尊重しながら、子ども食堂の開設や運営を希望する団体等に対し、相談段階から伴走支援を行い、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりにつなげていきたいと考えている。

一般質問



成田 達弘 議員
(七尾のみらいをつくる会)



■なお文化スポーツコミッションについて

地域資源を生かした新たなにぎわい創出へ

質

なお文化スポーツコミッションでは、市の地域資源をどのようににスポーツと結び付け、七尾ならではの交流人口の拡大につながるのか、その具体的な戦略を伺う。あわせて、コミッションの代表や事務局に、専門的知見や人的ネットワークを有する民間人材を早期に登用する考えはあるのか伺う。

市長は就任前から県内のスポーツ団体と深い関係を築いており、そのネットワークは七尾市の大きな強みである。この人脈を交流人口の拡大にどのように生かしていくのか伺う。

さらに、このコミッションを七尾市全体のプロジェクトとして推進するため、市民参加、関係団体との連携、議会との協働をどのように進めていくのか、その方針を伺う。

答

なお文化スポーツコミッションの役割は、文化、スポーツ、観光などの分野の垣根を超えて、地域資源や関係団体をつなぐことで、本市の文化・スポーツの振興を図るとともに、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげていくことである。青柏祭や七尾城跡、和倉温泉、食の魅力、スポーツ・文化施設などの資源を生かし、スポーツイベントでの伝統文化の披露や食の提供、観光PRを進め、交流人口の拡大に努めていきたい。

また、文化やスポーツを活用した地域活性化には専門的な知識や人的ネットワークを有する民間人材の力が重要であり、当面は市が事務局として組織基盤を整備し、必要となれば登用を検討していく。

さらに、これまで培ってきたネットワークを生かし、大会や合宿の誘致、プロスポーツチームによる市内イベントへの参画を促すとともに、市民の参加や地域活動への参画、議会からの意見・提言を得ながら実効性の高い取組を進めていく。